

麻しん(はしか)患者の発生について(注意喚起)

令和7年3月22日、八尾市内において、麻しん(はしか)の陽性者が1名確認されました。

当該患者は、感染可能期間内に当院を利用しており、不特定の方と接触している可能性があることが判明しましたので、注意喚起のため下記のとおり周知いたします。

なお、当院の対応スタッフは10名確認できましたが、感染のおそれがある者は緊急予防接種を実施し、感染可能期間内は自宅待機としておりますので、併せてお知らせさせていただきます。

記

1) 当院の利用状況

- ① 不特定の方と接触している可能性のある日

令和7年3月21日(金)

- ② 上記の対象患者滞在時間

12時00分頃から13時00分頃まで

- ③ 上記の対象患者利用場所

1階 及び 2階

2) 注意内容

- ・麻しん患者と接触した場合、接触後3週間(21日間)の注意が必要です。
- ・上記の日時に当院の上記場所を利用された方で、4月11日(金)までに発熱・発疹等、麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に麻しんの疑いがあることを医療機関に連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。 ※受診時に公共交通機関の利用は控えてください。

令和7年3月23日

八尾市立病院

病院長 藤田 淳也